

校長室だより

No. 14

平成28年7月8日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

「子供を大切に想う」ということ ―登校前の教室で―

今週の朝、まだ子供たちが登校する前、わたしが教室を通りかかると、ある先生の姿に目がとまりました。それは、先生が子供の机を一生懸命雑巾で拭いている姿でした。片手には雑巾、もう一方の片手には薬品をもちながら、机を磨いていました。

「先生、どうしたのですか？」と聞くと、「子供がノートを書いているところを見ていると、手から肘までが真っ黒になる子がいるんです。だから、机の汚れを取ってあげようと思って。」声をかけたときは、わたしが通りかかることなど、全く予想していなかったからか、びっくりしていました。その後も、その先生は黙々と子供が来る前に机を拭き続けていました。きっとわたしだと、子供の肘が汚れていることに気が付かなかっただろうし、朝の忙しさを理由に、薬品まで用意して机をきれいにしていただろうかと思います。この姿を見て、ふと自分がはずかしくなりました。



よくわたしたちは、「子供を大切にする」という言葉を使います。今回、この先生がしている姿を見て、子供を大切にするというのは、こういうことだと気付かされました。この先生にとっては、何も業務としてやっているわけではありません。子供の顔を思い出し、「子供の肘がよく汚れるから、汚れを取ってあげたい」。ただそれだけの気持ちからだったと思います。たぶん、自分の机を

拭かせることは普段やっているはずですが、それでも子供の肘が汚れていることを目にして、登校前に汚れをとっていたのだと思います。このことを想像したとき、「子供を大切に想う」とは、子供へのまなざしから生まれる、その先生の行動だと思いました。

義務教育は、子供の生活と学習の両面を担います。授業だけではないのです。教育に携わるわたしたちは、子供を愛おしく思えないと勤めきれない職業だと思っています。見えないところで、「子供を大切に想うからこそ」の取り組みをしている先生方がいます。「子供を大切にする」とはどういうことか、これからも考え続けたいと思います。

体を鍛える

先週末に、今年初めてせみの声を聞きました。今週は、湿度が高く暑い日は何日もありました。いよいよ夏到来と感じます。熱中症の危険度を表す指数が危険値になると、梅津先生が、放送で「外へ出るときは帽子を。授業が始まる前に水分を。顔洗いや手洗いをして体温を下げましょう。」と注意喚起してくれています。



今週は蕁麻疹（じんましん）が出る子や熱を出す子がいました。今週末には、子ども会の球技大会もあると聞きます。子供たちが少しばてていないか心配です。

そんななかでも、子供は暑さに負けません。昼放課に保健委員会主催「外で遊ぼう週間」の全校レクがあり、みんなで元気に鬼ごっこをしました。全校での鬼ごっこはなかなかの迫力です。大きい子は小さい子の様子を見ながら加減しています。体力・栄養・休養（睡眠）をとって健康に気を配りましょう。

夢をもつこと



昨日は、七夕集会を代表委員会の子たちが企画してくれました。これがまた大変楽しいクイズと劇でした。季節を感じるものの一つとして、また子供たちに自分の幸せや願いを考える機会をもつものとして七夕

集会を行っています。子供の夢を大切にしようと、毎年笹を切りに行ってくれているのが、大山教頭先生と事務の佐藤さんです。そして、ここ数年笹を提供してくださっているのが正願寺さん。ありがとうございます。

子供たちが短冊にどんな願いを書いたのかを少し紹介。全校の短冊を読んでいくと、なかにはちょっと切なくなる願いごともありました。願いごとを書くことが、子供の心の重荷にならないように配慮したいと思います。



ぶーるでもぐれるようになりますように（1年）	うちゅうひこうしになれるように（2年）
先生より足がはやくなりますように（3年）	ばあばのこしのいたいがなくなり元気になりますように（4年）
山の学習でスタンプが成功しますように（5年）	夏の大会で優勝できますように（6年）